

学期	月	単元名 小単元 教材名（時数）	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	4	ばらばら言葉を聞き取ろう	1 話・聞①	◎相手を見たり，言葉の抑揚や強弱，間の取り方などに注意したりして話することができる。（話・聞(1)ウ，伝国(1)イ(ア)）	・進んで友達と話し合ったり，友達が言っていることを聞こうとしたりしている。	【話・聞】 ・相手を見たり，言葉の抑揚や強弱などに注意したりして話している。	・言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	■友達の話す言葉を聞き取る。 ※話し合いの際の，話し手・聞き手の姿勢を育てる題材（特別活動）
		春のうた	1 読①	◎情景を想像し，リズムを楽しみながら工夫して音読することができる。（読(1)ア，伝国(1)イ(ア)）	・表現のしかたや言葉のリズムを楽しみ，声に出して詩を楽しんでいる。	【読】 ・人物の気持ちや場面の様子が表れるよう言葉の抑揚や強弱，間の取り方などを工夫して，音読している。	・言葉には，考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	■詩を音読する。 ※自然のすばらしさに感動し，自然や動植物を大切にする心を育てる題材（道徳）
		1 登場人物の人がらをとらえ，話し合おう						
		白いぼうし	8 読⑦，書①	◎場面の移り変わりに注意しながら，中心人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，叙述をもとに想像して読むことができる。（読(1)ウ・オ，伝国(1)イ(キ)） ○物語を読み，考えたことを発表し合い，一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。（書(1)オ） ・人物の行動や心情，場面の様子などがよく分かるように工夫して，音読することができる。（読(1)ア） ・書いたものを読み返し，よりよい表現に書き直すことができる。（書(1)オ）	・叙述に着目して物語を読み，登場人物の人柄を捉え，進んで話し合っている。	【読】 ・人物の気持ちや性格が表れるように，読み方を考えて音読している。 ・表現の工夫に着目して情景を読むとともに，行動や会話から，人物の気持ちや性格を想像している。 ・物語の場面ごとの人物の様子とその移り変わりを捉えている。 ・物語を読み，考えたことを発表し合い，一人一人の感じ方に違いがあることに気づいている。 【書】 ・書いたものを読み返し，よりよい表現になるよう，推敲している。	・書いたものを読み返し，よりよい表現になるよう，推敲している。	■登場人物の人柄を捉え，話し合う。 ※関連読書（図書館活用）
		漢字の組み立て	2 伝国②	◎偏旁冠脚に関する漢字の組み立てについて知識をもつことができる。（伝国(1)ウ(ウ)）	・漢字の組み立てや，部分に名称があるということに興味をもっている。		・漢字を組み立てている部分の名称や意味を理解している。	※文字の組み立てを知る題材（書写）
		漢字辞典の使い方	2 伝国②	◎漢字辞典の使い方を知り，漢字の部首や成り立ちや画数についての知識をもつことができる。（伝国(1)イ(カ)）	・漢字辞典のしくみを理解して，進んで調べようとしている。		・漢字辞典の引き方や画数の数え方を理解し，漢字辞典を使って調べている。	

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	4	春の風景	2 書②	◎春の風景に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。(書(1)ア, 伝国(1)イ(オ))	・季節を感じる風景に関心をもち、見つけたことを進んで書こうとしている。	【書】 ・春の風景に興味をもち、それに関わる言葉を「きせつの手帳」に書いている。	・季節の風景や様子を表す言葉を集め、交流している。	※我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ※地域の人々の生産(農業)に目を向けさせる題材(社会)
		よりよい話し合いをしよう [コラム] 話す言葉は同じでも	4 話・聞④	◎司会や提案者などの役割を理解し、目的に向かって、互いの考えの共通点や相違点を考えながら話し合うことができる。(話・聞(1)オ, 伝国(1)イ(ア))	・よりよい話し合いをするために必要なことについて考えようとしている。	【話・聞】 ・司会や提案などの役割と話し合いの目的を理解し、それぞれの立場で参加している。	・話し合いを進める言葉、人間関係を損なわない言葉や話し方について考えている。	■よりよい話し合いのしかたについて考え、学級全体で話し合っ て考えをまとめる。 ※話し合いの際の、話し手・聞き手の姿勢を育てる題材(日常生活・特別活動) ※人と接するときの態度について考えさせる題材(道徳)
	5	2 きょうみをもったところを発表しよう						
		大きな力を出す 動いて、考えて、また動く	8 読⑧	◎文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の、感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)オ) ○筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係を捉えて、段落相互の関係を考えることができる。(読(1)イ) ○文章の要点や細かい点に注意しながら読み、必要に応じて引用したり要約したりすることができる。(読(1)エ) ・表現したり理解をしたりするために必要な語句を増やしている。(伝国(1)イ(オ))	・説明的文章を、自分の経験や知識と照らし合わせて読もうとしている。	【読】 ・文章全体の構成に目を向けて読み、段落相互の関係を理解している。 ・「事実」と「考え」を読み分け、その関係を捉えている。 ・自分の考えの中心となる部分を詳細に読み、引用しながらまとめている。 ・筆者の考えに対する自分の考えを発表し合い、感じ方の違いに気づいている。	・頭や心の働きを表す言葉を見つけている。	■興味をもったところについて自分の考えを発表する。 ※自分の体について目を向けさせる題材(体育) ※自分の考えを述べる文章を書く。(総合的な学習の時間)
		漢字の広場①	2 書②	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ)	・絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。	【書】 ・書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。	・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。	■絵を見て想像したことをもとに書く。
		短歌・俳句に親しもう (一)	1 伝国①	◎短歌や俳句を音読して、情景を想像しながら、日本語特有のリズムを感じることができる。(伝国(1)ア(ア))	・短歌や俳句について情景を思い浮かべながら声に出して読もうとしている。		・好きな俳句や短歌を選び、五七調の語感やリズムに気をつけて音読している。	■音読したり暗唱したりする。 ※我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	5	3 調べたことを整理して書こう						
	6	新聞を作ろう [コラム] アンケート調査のしかた [コラム] 新聞にのせる写真や図など を選ぶときには	1 5 書⑮	◎新聞の特徴と作り方を知り，記事に することを決めて，伝えたいことが 明確になるように文章を書くこと ができる。(書(1)ア・イ) ○書いたものを読み返し，句読点や段 落などに気をつけて書くことがで きる。(書(1)オ，伝国(1)イ(エ))	・新聞の特徴を知り，進んで 新聞を作ろうとしている。	【書】 ・新聞の目的と特性を理解し， 書くために必要なことを調 べている。 ・伝えたいことが明確になる ように文章を書いている。 ・文章を読み返して，必要に 応じて修正している。	・句読点を適切に打ったり， 必要な箇所で改行をした り，文末を統一したりして いるかなどを確かめてい る。	■学級新聞を作る。 ※文字の大きさや配列に注意 して書くことに目を向けさせ る題材（書写） ※調べたことなどを効果的に 新聞にまとめる。(社会・総合 的な学習) ※学習した内容や国語科以外の 学習で調べたことなどを題材 （新聞に書く内容）にするこ とで，教科間の連携を図るこ とができる。 ※調べ学習（図書館活用）
		いろいろな意味をもつ言葉	2 伝国②	◎多義語について知り，言葉への興味 を広げることができる。(伝国(1) イ(オ))	・多義語を用いた詩のおもしろ さを理解し，国語辞典を使 って他の多義語について調 べようとしている。		・多義語の使い方について理 解している。	
		ふるやのもり	1 読①	◎場面の移り変わりに注意しながら 読み聞かせを聞き，中心人物の気持 ちの変化や情景などについて，想像 を広げることができる。(読(1)ウ， 伝国(1)イ(オ))	・場面の様子を想像しなが ら，読み聞かせを聞くこと を楽しもうとしている。	【読】 ・読み聞かせを聞いて，場面 の移り変わりや人物の様 子を捉えている。	・読み聞かせを聞いて，昔話 に特有の語や表現に気づい ている。	■昔話の読み聞かせを聞いて， 楽しんだり想像を広げたりす る。 ※我が国の伝統と文化に対する 理解と愛情を養う題材(道徳)
		4 場面の様子に着目して読み，しょうかいしよう						
	7	一つの花	8 読⑥，書②	◎場面の移り変わりに注意しながら， 登場人物の気持ちの変化，情景など について，叙述をもとに想像して読 むことができる。(読(1)ウ，伝国(1) イ(オ)) ○物語を読んで感じたことや考えた ことを発表し合い，友達との感じ方 の違いに気づくことができる。(読 (1)オ) ○紹介したい本を選んで読み，それ について書こうとすることの中心を 明確にして書いている。(読(1)カ， 書(1)ア・ウ)	・物語を読み，心に残ったこ とをもとに，進んで内容を 友達に紹介しようとして いる。	【書】 ・物語を読み，心に残ったこ とをもとに書くことを決 め，紹介するのに必要なこ と(題名・作者・あらすじ・ 出来事・心に残った言葉や 文・感想・考え・作品の特 徴など)を選んで書いてい る。 ・強く心に残った言葉や紹介 したいことを明確にして 書いている。	・様子を表す言葉について考 え，言葉を置きかえると印 象が変わることに気づい ている。	■物語を読んで紹介する。 ※戦争や平和について考えさせ るとともに，平和を願う心を 養う題材（社会・道徳） ※関連読書（図書館活用）

学期	月	単元名 教材名 小単元 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前期	7	夏の風景	2 書②	◎夏の風景に興味をもち、それに関わる語句を増やすことができる。(伝国(1)イ(オ)) ○作った俳句を読み合い、よさなどを交流することができる。(書(1)カ)	・季節を感じる風景に関心をもち、見つけたことを進んで書こうとしている。	【書】 ・俳句を作り、夏の風景や様子を表せているかなどについて意見を交流している。	・季節の風景や様子を表す言葉を増やしている。	■俳句を作る。 ※我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)
		自分の考えをつたえるには	7 書⑦	◎段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように段落相互の関係などに注意して文章を書くことができる。(書(1)イ) ○書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。(書(1)ウ) ○書いたものを読み返し、句読点や段落などに気をつけて書くことができる。(書(1)オ, 伝国(1)イ(エ))	・意見文の組み立てを考えながら、自分の考えを伝えようとしている。	【書】 ・自分の考えが明確になるよう段落相互の関係を意識して書いている。 ・自分の考えを相手に伝えるために、理由と、それに関する事例を挙げて書いている。 ・自分の考えが伝わるかを考え、句読点が正しく打てているかを見直したり、段落の始めなどを意識して行を改めたりして書いている。	・句読点を適切に打ったり、段落の始めなどの必要な箇所は行を改めたりして書いている。	■意見文を書く。
		漢字の広場②	2 書②	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ)	・絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。	【書】 ・書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。	・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。	■絵を見て想像したことをもとに書く。
		本は友達						
		「読むこと」について考えよう かけ [コラム] 読みたい本の見つけ方	5 読⑤	◎いろいろな本や文章を、目的に応じた読み方で読むことができる。(読(1)カ, 伝国(1)イ(ア)) ◎目的や必要に応じて本文を引用したり要約したり、心に残ったことを表したりすることができる。(読(1)エ)	・自分の読み方について振り返り、目的による読み物や読み方の違いに興味をもち、考えようとしている。	【読】 ・本を紹介するため、本文を引用したり、要約したりすることができる。 ・目的に応じて、いろいろな文章を、それに合った読み方で読んでいる。	・考えたことや思ったことを表す言葉を意識して書いている。	■読書紹介カードを作る。 ※読書活動(図書館活用)
	8	忘れもの ぼくは川	2 読②	◎二つの詩を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)オ, 伝国(1)イ(オ)) ○表現されている内容や作品中の話者の気持ちがよく分かるように音読することができる。(読(1)ア)	・表現の工夫に着目して読み、詩を読むことや音読することを楽しんでいる。	【読】 ・詩の表現の工夫に気づき、音読に表している。 ・自分が気に入った詩の感想を、理由とともに述べている。	・表現の工夫に目を向け、考えや思いを表現する言い回しや方法、語句を増やしている。	■詩を読んで、感想を述べ合う。

学 期	月	単元名　小単元 教材名　（時数）	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
前 期	8	カンジーはかせの漢字しりとり	2 伝国②	◎漢字しりとりを楽しみ, 漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。(伝国(1)ウ(イ))	・進んで問題に取り組もうとしている。		・問題に取り組み, 正しく漢字を書いている。	
	9	5　調べたことを整理し, 発表しよう だれもが関わり合えるように 〔資料〕手と心で読む						
			1 5 話・聞⑮	◎関心のあることなどから話題を決め, 必要なことを調べて要点をメモすることができる。(話・聞(1)ア) ◎相手や目的に応じ, 理由や事例などを挙げながら筋道を立て, 話し方の工夫を考えて話すことができる。(話・聞(1)イ・ウ, 伝国(1)イ(ア)) ○話の中心に気をつけて聞き, 質問をしたり感想を述べたりすることができる。(話・聞(1)エ)	・文章を読んで関わり合いについて考え, 課題について進んで調べようとしたり友達に分かるように発表しようとしたりしている。	【話・聞】 ・調べる方法を選び, 課題を解決するための情報を集め, メモしている。 ・工夫して情報を整理している。 ・内容やまとまりを意識して, まとまりや組み立てが分かるように話している。 ・相手を見たり, 大事な言葉や部分を強調したりするなど, 工夫して話している。 ・発表を聞き, 気づいたことや質問したいことをメモに取ったり発言したりしている。	・言葉には, 考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	■調査の報告をしたり, それらを聞いて意見を述べたりする。 ※相手を思いやり, 他者理解を促す題材（道徳・総合的な学習の時間） ※調べ学習（図書館活用
	1 0	漢字の広場③	2 書②	◎3年生までに配当されている漢字を書き, 文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文の間違いを正したり, よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ) ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。(伝国(1)イ(ク))	・絵に描かれている様子を想像し, 文に表そうとしている。	【書】 ・書いたものを読み返し, 間違いを正したり, よりよい文になるよう表現を考えたりしている。	・指示語や接続語を適切に使って, 文を書いている。 ・提示された漢字を正しく使って, 文を書いている。	■絵を見て想像したことをもとに書く。
後 期	1 0	1　読んで考えたことを話し合おう ごんぎつね						
			1 4 読む⑪, 書③	◎文章を読んで, 考えたことを発表し合い, 互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うとともに, 一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。(読(1)エ・オ) ○場面の移り変わりに注意しながら, 登場人物の性格や気持ちの変化, 情景などについて, 叙述をもとに想像して読むことができる。(読(1)ウ)	・叙述に着目して物語を読み, 感じたことや考えたことを進んで話し合おうとしている。	【読】 ・場面の移り変わりに注意しながら, 登場人物の性格や気持ちの変化を読み取っている。 ・登場人物の性格や気持ちの変化, 情景を表す文や語句に着目しながら読み, 感想をまとめている。	・言葉には, 考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	■物語を読んで考えたことを話し合う。

学 期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 0			○考えたことが文章に表れているか 見直すとともに、書いたものを発表 し合い、書き手の考えの明確さなど について意見を伝え合うことができ る。(書(1)オ・カ, 伝国(1)イ(ア))		・物語を読んで考えたことを 発表し合い、一人一人の感 じ方に違いのあることに 気づいている。		
		秋の風景	2 書②	◎秋の風景に興味をもち、それに関わ る語句を増やすことができる。(伝 国(1)イ(オ)) ○秋の風景から想像を広げ、詩を書く ことができる。(書(1)ア)	・季節を感じる風景に関心を もち、見つけたことを進ん で書こうとしている。	【書】 ・秋の風景から想像を広げ、 詩を書いている。	・季節の風景や様子を表す言 葉を増やしている。	■詩を書く。 ※我が国の伝統と文化に対する 理解と愛情を養う題材(道徳) ※地域の人々の生産（農業）に 目を向けさせる題材（社会）
	1 1	慣用句	2 伝国②	◎長い間使われてきた慣用句の意味 を知り、生活の中で使うことができ る。(伝国(1)ア(イ))	・慣用句に興味をもち、進ん で意味を調べようとして いる。		・国語辞典などを使って、慣 用句の意味や使い方を調 べ、文の中で使っている。	※我が国の伝統と文化に対する 理解と愛情を養う題材(道徳) ※P94「わたしの研究レポート」 の題材として活用できる。
		2 段落どうしの関係をとらえ、説明のしかたについて考えよう						
		アップとルーズで伝える [コラム] 言葉で変わる写真の印象	8 読⑧	◎それぞれの段落が全体の中でどの ような役割を果たしているかを考 えながら読むことができる。(読(1) イ, 伝国(1)イ(ク)) ○写真と対応した部分に注意して読 み、「アップ」と「ルーズ」それぞ れの特徴を整理することができる。 (読(1)エ)	・写真と文章を対応させて、 説明的文章に興味をもっ て読もうとしている。	【読】 ・それぞれの段落の役割を、 本文の内容から理解してい る。 ・写真と本文の対応関係を理 解している。	・指示語や接続語が、文や段 落の関係を示す手がかりに なることを理解している。	■説明の文章を読み、説明の工 夫について考えてまとめる。 ※実験・観察・調査などの記録・ 報告（理科・社会） ※情報の発信のしかたやその意 図に目を向けさせる題材（総 合的な学習の時間）
		「クラブ活動リーフレット」を 作ろう	8 書⑧	◎書こうとすることの中心を明 確にして、写真と文章を対応さ せながら、段落相互の関係に注 意して文章を書くことができ る。(書(1)イ・ウ) ・句読点を適切に打ち、段落の始 めなど必要な箇所は行を改め ることができる。(伝国(1)イ (エ))	・分かりやすく説明する ために、写真を選んだ り、文章を書いたりし ようとしている。	【書】 ・文章全体の構成を理解 し、書くことの中心を明 確にして書いている。 ・選んだ写真と文章を対 応させて書いている。	・句読点を適切に打ち、 必要な箇所は改行して 書いている。	■写真と文章を組み合わせ て、リーフレットを作成 する。 ※リーフレットを作成す る。 （社会・総合的な学習の 時間）
	1 2	短歌・俳句に親しもう（二）	1 伝国①	◎短歌や俳句を音読して、情景を想像 しながら、日本語特有のリズムを感 じ取ることができる。(伝国(1)ア (ア))	・短歌や俳句について情景を 思い浮かべながら声に出 して読もうとしている。		・好きな短歌や俳句を選び、 五七調の語感やリズムに気 をつけて音読している。	■音読したり暗唱したりする。 ※我が国の伝統と文化に対する 理解と愛情を養う題材(道徳)

学期	月	単元名 教材名 小単元 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考 ※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	
後 期	1 2	3 心に残ったことを感想文に書こう						
		プラタナスの木	8 読⑧	◎読んで考えたことを発表し合い、感じ方の違いに気づくことができる。 (読(1)エ・オ) ○登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。(読(1)ウ、伝国(1)イ(ア))	・自分の体験と重ね合わせながら、物語を読もうとしている。	【読】 ・場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉えている。 ・心に残ったことを伝えるため、本文を引用したり要約したりして感想を書いている。 ・物語を読んだ感想を交流し、一人一人の感じ方の違いを理解している。	・情景を表す言葉や表現を見つけている。	■物語を読んで、感想文を書く。
		漢字の広場④	2 書②	◎3年生までに配当されている漢字を書き、文の中で使うことができる。(伝国(1)ウ(イ)) ・文の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ)	・絵に描かれている様子を想像し、文に表そうとしている。	【書】 ・書いたものを読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。	・提示された漢字を正しく使って、文を書いている。	■絵を見て想像したことをもとに書く。
		文と文をつなぐ言葉	4 書②、伝国②	◎文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使うことができる。(伝国(1)イ(ク)) ○文と文をつなぐ接続語の役割を知り、文章をよりよい表現にすることができる。(書(1)オ)	・接続語の使い方や違いを考えようとしている。	【書】 ・接続語を適切に使って、文を書いている。	・接続語が文と文とのつながりに果たす役割を理解して、使っている。	
		1 のはらうた	2 読②	◎野原の住人の性格や思いを想像しながら、詩を読むことができる。(読(1)ウ、伝国(1)イ(ア)) ○好きな詩を選んで発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づくことができる。(読(1)オ)	・自分の好きな詩を選び、野原の住人の性格や情景を想像しながら、読もうとしている。	【読】 ・表現の工夫に着目して読んでいる。 ・自分の好きな詩を、その理由や感想とともに発表し、一人一人の感じ方の違いに気づいている。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	■詩を読み、感じたことを伝え合う。 ※自然に目を向け、動植物に寄り添う心を養う題材（道徳）
		野原にあつまれ	5 書⑤	◎前教材「のはらうた」で読んだ数編の詩を参考に、自分が作りたい詩について考えることができる。(書(1)ア) ○書いた詩を読み合い、表現のよさなどについて交流することができる。(書(1)カ、伝国(1)イ(ア))	・野原の住人になりきって詩を書こうとしている。	【書】 ・野原の住人の特徴を自分なりに考えて、何を書くのかを決めている。 ・自分の書いたものと友達が書いたものを比べている。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	■想像したことをもとに、詩を作る。 ※自然に目を向け、動植物に寄り添う心を養う題材（道徳）

学期	月	単元名 教材名	小単元 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考
						関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
後 <									

学期	月	単元名 小単元 教材名 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考
					関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
後 								

学 期	月	単元名 教材名	小単元 (時数)	時数	指導目標	評価規準			※備考
						関心・意欲・態度	【話・聞】【書】【読】	言語事項	※次年度の指導に参考になる事項 ■言語活動
後 期	3	十年後のわたしへ		2 書②	◎目的に合った内容を考えて、手紙を書くことができる。(書(1)ア) ○書いた手紙を読み返し、表記の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることができる。(書(1)オ,伝国(1)イ(エ))	・ふさわしい言葉を選んで、手紙を書こうとしている。	【書】 ・目的に合った内容を考えて、手紙を書いている。 ・書いた手紙を読み返し、間違いを正したり、よりよい文になるよう表現を考えたりしている。	・句読点の打ち方などに気を付けて、手紙を書いている。	■手紙を書く。 ※上巻 P138 「手紙で伝えよう」
学習指導要領の配当時数				2 4 5					予備時数 1 2
国語の配当時数				1 9 8					
書写の配当時数				3 5					